

議事録（概要）

会 議 名	令和5年度第3回地域包括ケア推進委員会					
会 場	芦屋町役場3階31会議室					
日 時	令和5年11月30日（木） 14:00～:15:10					
委員の出欠	委員長	中村 貴志	出	委員	上田 直樹	出
	副委員長	小徳 薫	出	委員	福原 光次	出
	委員	櫻井 俊弘	欠	委員	末武 司郎	出
	委員	岳藤 さおり	出	委員	松尾 シズ子	出
	委員	宮城 武明	出	委員	中西 智昭	出
	委員	白石 英也	出	委員	川上 誠一	出
	委員	瀬戸 公美	出	委員	占部 吉郎	欠
件名・議事	議事 1 第9期芦屋町高齢者福祉計画素案について 2 その他					
合意事項 決定事項	1 第9期芦屋町高齢者福祉計画素案について ・報告、了承された。 2 その他 ・報告、了承された。					

令和5年度第3回地域包括ケア推進委員会 議事録

○日時

令和5年11月30日(木)14:00～15:10

○場所

芦屋町役場3階 31会議室

○協議事項

- 1 第9期芦屋町高齢者福祉計画素案について
- 2 その他

議事1 第9期芦屋町高齢者福祉計画素案について

●事務局から【資料1】「第9期芦屋町高齢者福祉計画（素案）」に基づき説明。

（委員）

- ・素案についての基本的な方向性はいいように思うが、P10、P76 老人憩の家について、議会説明では修理が必要な場合は廃止と伺った。整合性が取れないように思う。

（事務局）

- ・令和11年3月までの5年間は継続。今回は3年間の計画のため、この計画内は可能な限り運営を行いたいという考え。方向性を示してはいるが議会です承を得ていないため、細かな記載ができない。

（委員）

- ・P77 DX化という言葉が浸透していないため、何かわかりやすい記載や表現方法があればよいように思った。

（事務局）

- ・注釈を入れるなど、検討を行いたい。
- ・デジタル化がDXという言い方になっているかと思われる。ひとつひとつを細かくすれば言い換えしやすい言葉はあるが、国がDX化を推進している。現段階では馴染みのない言葉だと思うが、今後何か新たな取組があったときのために「DX化」は残して、注釈などで分かりやすいように記載できればと思う。

(委員長)

- ・パブリックコメントにもかけるため、少しでも丁寧で親切な文言にしていきたい。時間に余裕があれば用語集なども作成していただければと思う。

(事務局)

- ・用語集は作成するが、後ろに見に行く作業が必要となる。その場でわかるように注釈をつけることができるものは適度に入れていきたい。

(委員)

- ・P75 企業で定年延長が行われ、老人会などの加入が少なくなっている。グランドゴルフ、ソフトバレーなど1ヶ月に1回～2回行っているが、家に閉じこもることを防ぐために行っている。閉じこもりをどう防ぐかが重要。運動は嫌いだが、話が好きな方もいるため、何らかの方法がないか考えている。自治区の数に対し、老人会の数は半分。福祉課と協議しながら検討を行い、一人でも多くの方に参加していただけるような行事を行っていききたい。取組については評価している、素晴らしいと思う。

(委員長)

- ・具体的にどうするかが極めて重要。行政と社会福祉協議会で連携しながら新たな地域のあり方を探していかなければならない。芦屋町で育っていく子ども達が、将来、町を支えるようなビジョンが本当は必要なのかもしれないと話を伺いながら思った。

(委員)

- ・計画全般にあたって自治区がどう位置付けられているか記載がない、見えてこない。また、健康診査の対象について、対象を明確に記載していただきたい。

(事務局)

- ・今回高齢者施策ということで、この上位に地域福祉計画が存在し、そちらには自治区についての記載がある。今後も課題と認識し、検討を行いたい。
- ・特定健診については、国民健康保険に加入をされている方が対象。健康診査については、対象者に対する受診率、割合を記載している。対象者についてわかりやすい記載ができるか検討したい。

(委員長)

- ・今までの経過的な変化をみる考え方があるため、従来の枠組みのまとめ方があるはず。枠組みの中でどうカウントしているかを確認いただきたい。

(委員)

- ・記載されている認知症に関することが県などの話が多く、芦屋町独自の取組の記載がない。もっと取組をされていると思うため、記載した方がいいように思った。

(事務局)

- ・行動計画では具体的な施策の記載があるが、ここでは大きな項目での記載という形になっている。認知症については、色んなことで困っている方が何でも相談できる体制づくりが行われているが、まだ途中段階となっている。

(委員長)

- ・認知症対策は重要。芦屋町らしさを可能な範囲でみせてほしいという意見かと思う。具体策を打つときにはもう少し中身を記載していただければと思う。

(委員)

- ・老人憩の家の老朽化での話を伺ったが、今後入浴施設などがなくなると、一人暮らしの方の入浴など心配。無料ではなくてもいいからずっと続けてほしいという声もある。一人暮らしの方が災害にあった時の避難場所として取組を行いたい、名簿などは個人情報で聞く事ができない。
- ・認知症で在宅生活を維持するためにはやはりお風呂の問題を片付けないといけない。デイサービスの施設で果たして賄えるのか。緊急通報システムの設置なども考慮していただきたい。

(事務局)

- ・老人憩の家は老朽化が激しく、このまま継続すると危険性があるため、近いうちに解体しなくてはならない。現状老人憩の家は100人程度の利用、全体の町民から見ると少ない。高齢者みんなが使えるような建物はある。それをどう周知していくかに施策を展開しなくてはならないと思っている。入浴については、今後介護サービスなども利用してほしい。老人憩の家は福岡県、社会的にも違う施策に移ってきており、数もとても少なくなっている。
- ・災害時の個人情報について、行動計画に記載されるが、避難行動要支援者名簿を作成している。
- ・デイサービスについては現状数が足りないという情報は聞いていない。また、緊急通報システムについては推進していきたいと思っている。広報は行っているが知らない方も多。行動計画で記載、チラシ作成などで周知していきたい。

(委員)

- ・ P64 社協として愛の福祉ネットワーク活動をすすめている。共助をすすめるためにも重要な活動だと思っているが、実際活動されている自治区は 30 地区中 8 地区。もっと推進し、広げていきたい。

(委員長)

- ・ 計画素案の方向性、内容について皆さんに了承いただいたこととする。本日いただいた意見については、最終的に事務局と私に一任いただき、町長に対する答申案とさせていただきます。

議事 2 その他

(事務局)

- ・ 今後のスケジュールについてだが、パブリックコメントを 12 月下旬から 1 月下旬、1 ヶ月間実施する予定。パブリックコメントで出された意見の精査を行い、最終の計画案を作成。4 月の上旬には委員の皆様にも計画書を配布させていただければと思っている。

以上